

会計決算を認定

9月定例会では、一般会計・特別会計・企業会計決算の認定議案14件と第72号議案・第73号議案が決算特別委員会に付託され、9月16日から18日の3日間にわたり審査を行いました。

決算特別委員会

決算認識を問う

一般会計決算に対する各会派の総括質疑

【問】 市政全般における決算の認識は。

【答】 山脇前市長が実施した4Sのまちづくりの総仕上げを行うとともに、懸案となっていた豊川市開発ビルの清算など喫緊の課題に取り組んだ。

主な事業として、プリオビルの取得とリニューアルオープン、幼児教育・保育の無償化、保育園の老朽化等危険遊具の改修や全保育室へのエアコン設置の推進などに取り組んだ。

決算額は過去最大となったが、市民が必要かつ重要と考える課題に積極的に取り組み、目指す施策の土台づくりを行った。

【問】 市債残高及び公債費の動向と効果は。

【答】 一般会計の市債残高は、元年度末で412億5千万円、対前年度で17億3千万円減少した。公債費も年々減少し、増加傾向にある義務的経費の中で大きな減額効果をあげている。

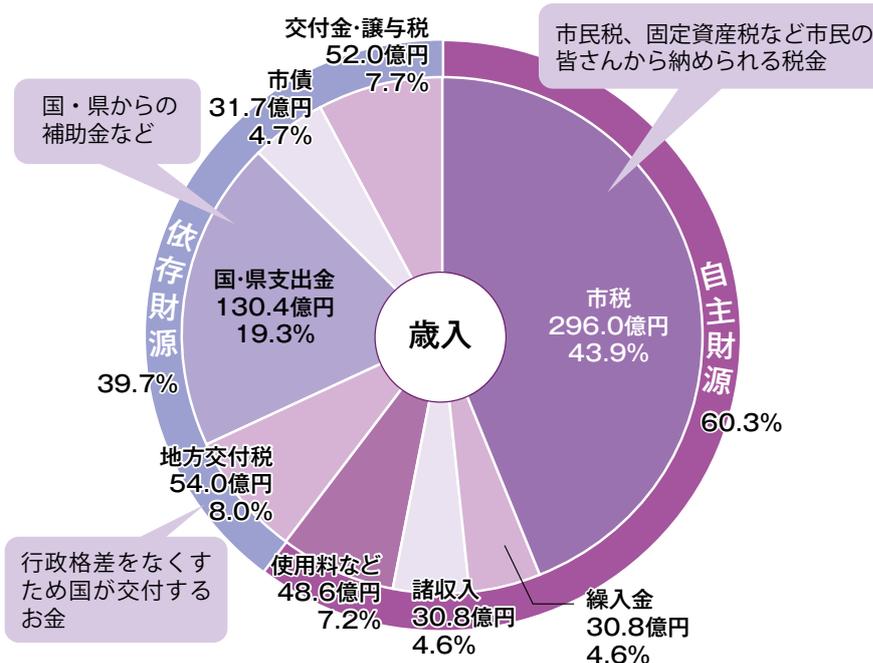
4Sのまちづくり

Smile(笑顔)「子育てするなら豊川市」といわれるまち
Soft(やさしさ)人にやさしく健康で自然と共生したまち

Safety(安心)安全安心で活気あふれるまち
Simple(わかりやすさ)わかりやすく、無駄のない行政

の決算額

歳入総額 674.3億円



令和元年度一般

新型コロナウイルス感染症の拡大という緊急事態への対策を行うため、必要な財源確保ができるよう財政運営に取り組む。

【問】 普通建設事業の状況は。

【答】 決算額は91億9千809万6千円で、対前年度15億4千879万5千円、20.2%の増となった。主な増要因は、プリ

オビル取得に係る普通財産取得事業、防災センター整備事業、大木・一宮西部保育園統合事業など。

大型事業があり、大きく増加しているが、財政調整基金を活用し、市債の増加は2億4千万円ほどにとどめており、将来負担にも配慮するなかで増加に対応している。

【問】 国の消費税増税対策の決算状況は。

【答】 地域の消費喚起

を目的に実施したプレミアム付商品券発行事業について、国庫支出金を財源に、当初予算に人件費(時間外手当)も含め8億7千万円の事業費で計上した。

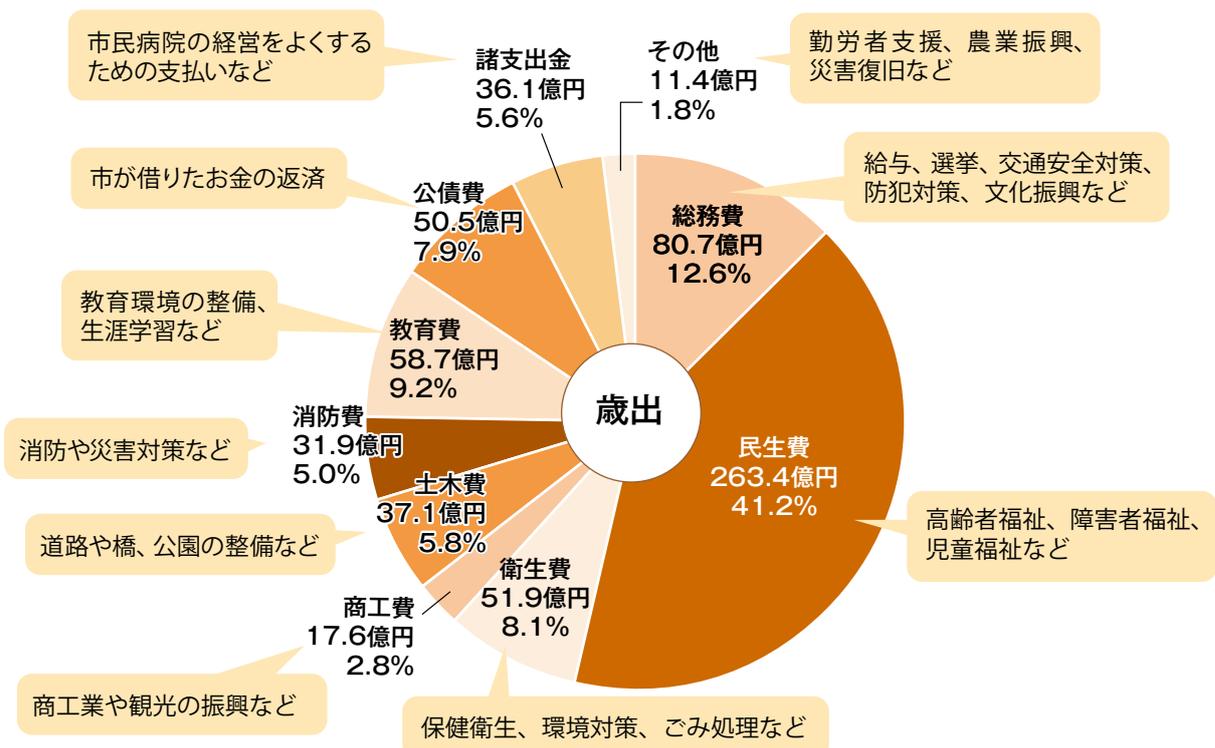
低所得者と子育て世帯向けであったが、低所得者向けの購入実績が少なく、決算額は3億2千874万4千円となったものの、額面にして約2億9千600万円の商品券が購入されたため、地域の消費喚起につながったと認識している。



市が取得したプリオビル

一般会計

歳出総額 639.3億円



※小数点第2位以下は四捨五入しています。

令和元年度各会計決算の状況

会計名		収入済額	支出済額	
一般会計		674億2,569万円	639億2,777万円	
特別会計	豊川西部土地区画整理事業	4億112万円	1億7,405万円	
	豊川駅東土地区画整理事業	6億3,678万円	4億4,520万円	
	公共駐車場事業	9,939万円	4,874万円	
	国民健康保険	164億1,890万円	155億3,402万円	
	後期高齢者医療	24億475万円	23億9,132万円	
	土地取得	1億9,086万円	1億8,939万円	
	一宮財産区管理事業	56万円	18万円	
	赤坂財産区管理事業	321万円	130万円	
	長沢財産区管理事業	500万円	225万円	
	萩財産区管理事業	1,279万円	648万円	
企業会計	水道事業	収益的	36億5,133万円	29億7,470万円
		資本的	2億7,315万円	19億2,238万円
	下水道事業	収益的	41億8,839万円	38億5,460万円
		資本的	19億2,887万円	35億4,097万円
	病院事業	収益的	152億8,336万円	157億5,140万円
		資本的	15億622万円	20億2,451万円
合計		1,144億3,034万円	1,127億8,928万円	

※1万円未満は四捨五入しているため、必ずしも合計額は一致しません。

令和元年度決算の 総括と各会計の決算

山脇前市長が実施した4Sのまちづくりの総仕上げを行うとともに、プリオビルの取得とリニューアルオープン、保育園の環境対策の推進など「元気なとよかわ子育てにやさしく、人が集うまち」の実現に向けた取り組みにも着手したことが伺えました。

主な事業



●防災センター整備事業 8億624万円

令和元年10月に竣工し、災害対策本部機能及び災害対応体制を強化



●保育環境対策事業 3,218万円

エアコン設置率の低い保育園13園の未設置保育室各1室に設置



●ワンコインがん検診事業(胃内視鏡検査) 1,542万円

胃内視鏡検査を新たに加え、受診しやすい体制を整備



●桜ヶ丘ミュージアム展示事業 2,041万円

「島田卓二、黒田清輝とその周辺」始め9本の展覧会を開催



●小坂井地域交流会館(仮称)整備事業 5,624万円

小坂井地区公共施設再編整備基本計画等を踏まえ、建物の基礎工事を実施

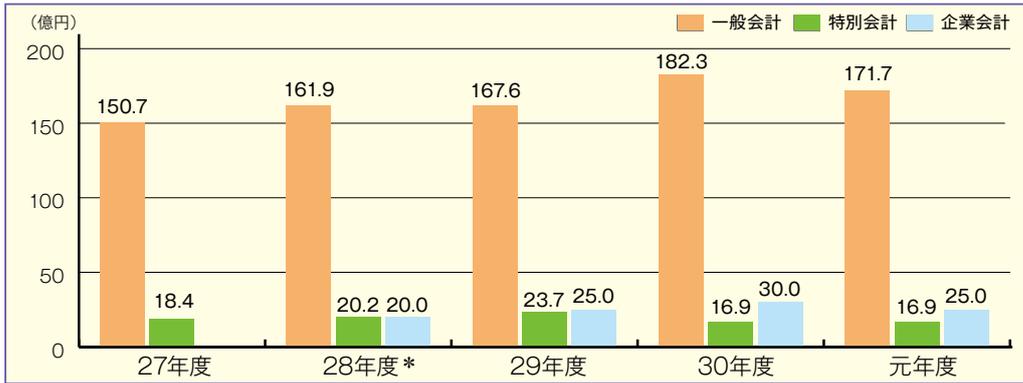


●小中学校環境改善対策事業 1億7,388万円

小学校5校のトイレ改修工事を実施し、洋式化の推進及び多目的トイレの整備を実施

※1万円未満は四捨五入しています。

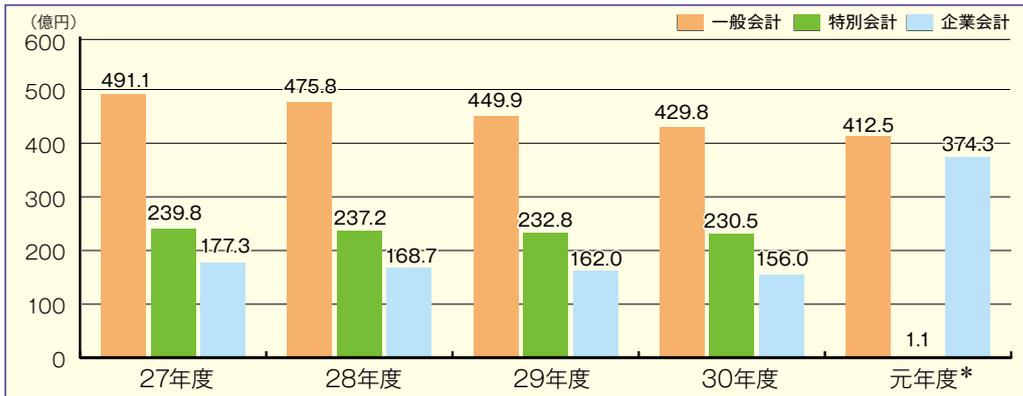
【基金(貯金)の5年間の推移】



※小数点第2位以下は四捨五入しています。

*平成28年4月1日 病院事業基金を設置

【市債(借金)の5年間の推移】



※小数点第2位以下は四捨五入しています。

*令和元年度より、公共下水道事業等が特別会計から企業会計へ移行

原案可決

令和元年度一般会計決算の認定



賛成

多くの課題や市民ニーズに適切に対応しており賛成!

元年度決算は過去最大規模となったが、プリオビルの取得や防災センターの整備などに加え、少子高齢化の進行などに伴い、増加する社会保障関係費への対応や、第6次総合計画に掲げる施策の着実な推進、地元要望など、多くの課題に積極的に取り組まれた結果によるものと認識している。

子育て支援施策では、大木・一宮西部保育園の統合、小学校のトイレの洋式化の推進、防災対策では、防災センターや三河臨海緑地避難用高台の整備、社会福祉施策では、障害者の相談支援事業の体制強化、健康づくりでは、ワンコインがん検診への胃内視鏡検査の追加などを実施している。また、市債残高の削減やファシリテイマネジメントの推進に努めるほか、文化芸術や社会教育に触れる機会を創設し、スポーツに親しむ環境整備にも取り組み、多くの課題や市民ニーズに対応した良好な決算であり、賛成する。

反対

市民の立場からは考えられない点、市民の意見を顧みない点があり、反対!

元年度の市民意識調査では、コンパクトシティの評価が低く、コミュニティバスの利便性の向上を求める意見があり、「住みにくい」との声が多い地域の抜本的対策を求める。

また、市プールは、廃止の方針の下に取り壊しの設計が予算計上され解体中だが、次期スポーツ振興計画を作成するためのアンケートでは、子供たちがあるとうれい施設の一番は市プールであった。夏場に子供たちが水泳をする権利を奪い、アンケート結果等の市民の意見を顧みなかったという点で放置できない。

また、補正予算でプリオビルを購入したが、国・県・市が税金で造ったビルは、建設の借金が残るとい見通しの甘いもので、清算のために税金をつぎ込むことについての反省がなく、責任も追及されていないことに強く抗議し、反対する。

※会派別賛否の状況については、7ページの議決状況の一覧でご確認ください。

**令和2年
9月定例会**

9月定例会は、8月27日から9月24日までの29日間を会期として開かれました。令和2年度一般会計補正予算を始めとした11議案のほか、令和元年度各会計の決算認定14件、報告6件が提出されました。そのほか、意見書2件が審議されました。また、18人が一般質問を行いました。

議案 審議



※議案審議の内容は抜粋したものです。詳しくは、議決状況の一覧またはホームページをご覧ください。
(右のQRコードよりアクセスできます。通信料は利用者負担です。)



一般会計補正予算(第6号、第7号) ★: 新型コロナウイルス感染症対策に関する事業

全て
原案可決

○交通安全対策推進事業費(115万2千円追加)

小学校入学時に配付する通学用ヘルメットについて、より安全性の高いものに拡充するための経費として、消耗品費を追加するもの。

○児童発達支援事業費(1,928万9千円追加)

児童発達支援センター(仮称)の令和3年度の開設に向けた準備に係る経費として、消耗品費、ネットワーク配線委託料、改修工事費、事業用器具費を追加するもの。

○豊川産農産物普及推進事業費(119万4千円追加) ★

豊川産農産物の普及を推進するため、市内の小中学生を対象に、地元の花きを使ったリモートアレンジフラワー教室を開催するための経費として、消耗品費、通信運搬費、イベント開催委託料などを追加するもの。



○収入保険加入支援事業費補助金(2,000万円追加) ★

農業者に対し、収入保険の加入に必要な保険料の一部などを支援する収入保険加入支援事業費補助を追加するもの。

○都市公園維持管理費(3,108万5千円追加)

弥五郎第二公園はじめ25カ所の樹木伐採などのための樹木管理委託料や、向山公園のフェンス改修をはじめ2カ所の補修工事費などを追加するもの。

○予防接種事業費(4,125万円追加) ★

新型コロナウイルスとインフルエンザが同時流行する場合を見据え、高齢者等に対するインフルエンザワクチンの予防接種費用の自己負担額分について支援するため、予防接種等委託料を追加するもの。

○消耗品費及び事業用器具費(またはいずれか)を追加 ★

マスク等の物品を購入するもの。
児童クラブ1,850万円、利用者支援事業(基本型)15万円、公立保育所1,050万円、交通児童遊園50万円、児童館550万円、子育て支援センター50万円、赤ちゃん訪問事業・利用者支援事業(母子保健型)100万円、避難所490万7千円



意見書の提出

原案可決

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣、まち・ひと・しごと創生担当大臣

【意見の要旨】
新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、わが国は、戦後最大の経済危機に直面している。地域経済にも大きな影響が及び、本年度はもとより来年度においても、地方税・地方交付税など一般財源の激減が避けがたくなっている。
地方自治体では、医療介護、子育て、地域の防災・減災、雇用の確保など喫緊の財政需要への対応はじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、地方財政は巨額の財政不足を生じ、これまでにない厳しい状況に陥ることが予想される。
よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、次の事項を確実に実現されるよう、強く要望する。
1 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税などの一般財源総額を確保し、臨時財政対策債が累積することのないよう発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。
2 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能の両機能が適切に発揮できるように総額を確保すること。
3 令和2年度の地方税収の大幅な減収が予想されるため、減収補填措置を講じ、減収補填債の対象税目についても弾力的に対応すること。
4 税収が安定的な地方税体系の構築に努め、政策税制は整理合理化を図り、新設・拡充・継続は有効性・緊急性を厳格に判断すること。
5 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹に影響する見直しは、土地・家屋・償却資産を問わず、断じて行わないこと。

意見書の提出

原案可決

【提出先】 衆議院議長、
参議院議長、内閣総理大
臣、財務大臣、総務大臣、
国土交通大臣、内閣官房
長官、国土強靱化担当大
臣、内閣府特命担当大臣
(防災)

【意見の要旨】
わが国では近年、地震、台風、豪
雨等の自然災害が各地で発生し、本
市においても、かつて経験したこと
のない災害にいつ見舞われても不
思議ではない。
政府は令和2年7月に「経済財政
運営と改革の基本方針2020」を
閣議決定し、特に防災・減災、国土
強靱化について、国・地方自治体等
が一致団結し取組を強力に推進す
るとともに、「防災・減災、国土強靱化
のための3か年緊急対策」後も必要
・十分な予算を確保し、災害に屈し
ない国土づくりを進めるとしている。
本市では、地域強靱化計画を策定
し各種施策を実施しているが、市民
の生命・財産を守るための対策は継
続して行うことが必要不可欠である。
よって、国は、緊急対策終了後も、
予算・財源を安定的に確保し、地方
整備局及び河川国道事務所・出張所
の人員や体制の維持・充実を図るよ
う強く要望する。

大規模災害に対する備えの充
実を求める意見書

議決状況の一覧

■7月臨時会 ○賛成・×反対 未来一とよかわ未来(21) 公明一公明党市議団(3) 共産一日本共産党豊川市議団(2) 無党派一1人会派(4)
※()内は所属人数で、議長は表決に加わりません。

議 案 名	会 派 別 賛 否 状 況				議 決 結 果
	未来	公明	共産	無党派	
64 2年度一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	可決
報告10 損害賠償の額に関する専決処分の報告	—	—	—	—	報告

報告10については、報告のみで採決はありません。

■9月定例会 ○賛成・×反対 未来一とよかわ未来(21) 公明一公明党市議団(3) 共産一日本共産党豊川市議団(2) 無党派一1人会派(4)
※()内は所属人数で、議長は表決に加わりません。

議 案 名	会 派 別 賛 否 状 況				議 決 結 果
	未来	公明	共産	無党派	
65 2年度一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	可決
66 2年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	可決
67 2年度病院事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	可決
68 市道路線の廃止	○	○	○	○	可決
69 市道路線の認定	○	○	○	○	可決
70 小学校教育用コンピュータ機器等の取得	○	○	○	○	可決
71 中学校教育用コンピュータ機器等の取得	○	○	○	○	可決
72 元年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	可決
73 元年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	可決
74 土地開発公社定款の変更	○	○	○	○	可決
75 2年度一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	可決
認定1 元年度一般会計決算の認定	○	○	×	○	認定
認定2 元年度東三河都市計画事業豊川西部土地区画整理事業特別会計決算の認定	○	○	○	○	認定
認定3 元年度東三河都市計画事業豊川駅東土地区画整理事業特別会計決算の認定	○	○	○	○	認定
認定4 元年度公共駐車場事業特別会計決算の認定	○	○	○	○	認定
認定5 元年度国民健康保険特別会計決算の認定	○	○	×	○	認定
認定6 元年度後期高齢者医療特別会計決算の認定	○	○	×	○	認定
認定7 元年度土地取得特別会計決算の認定	○	○	○	○	認定
認定8 元年度一宮財産区管理事業特別会計決算の認定	○	○	○	○	認定
認定9 元年度赤坂財産区管理事業特別会計決算の認定	○	○	○	○	認定
認定10 元年度長沢財産区管理事業特別会計決算の認定	○	○	○	○	認定
認定11 元年度萩財産区管理事業特別会計決算の認定	○	○	○	○	認定
認定12 元年度水道事業決算の認定	○	○	×	○	認定
認定13 元年度下水道事業決算の認定	○	○	×	○	認定
認定14 元年度病院事業決算の認定	○	○	○	○	認定
報告11 元年度一般会計継続費の精算	—	—	—	—	報告
報告12 豊川市土地開発公社の元年度事業報告	—	—	—	—	報告
報告13 豊川市開発ビル株式会社の経営状況	—	—	—	—	報告
報告14 株式会社本宮の経営状況	—	—	—	—	報告
報告15 公益財団法人豊川市国際交流協会の経営状況	—	—	—	—	報告
報告16 公益社団法人豊川文化協会の経営状況	—	—	—	—	報告
意見1 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の発議	○	○	○	○	可決
意見2 大規模災害に対する備えの充実を求める意見書の発議	○	○	○	○	可決

報告11～16については、報告のみで採決はありません。